

2 目指す姿と施策の体系

目指す姿

「農」のある暮らし、 街とともにある農業

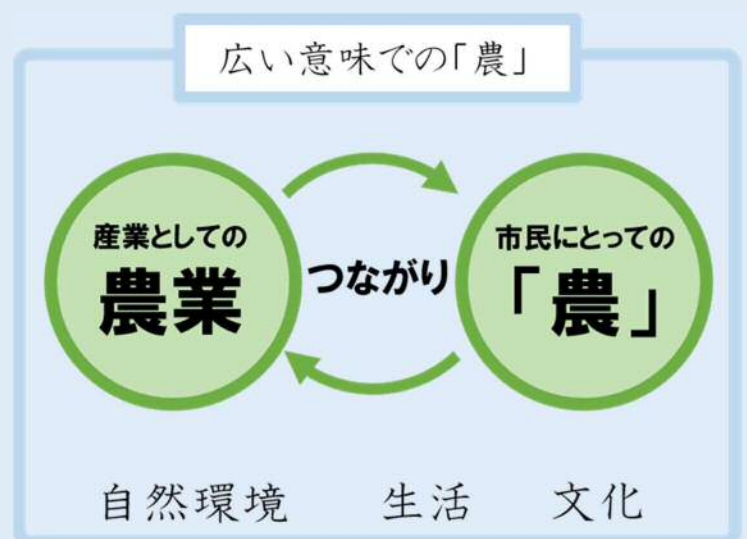
本市の農業は、人口密集地域やその周辺で行われています。農業が産業としてより良く行われるためには市民による理解が不可欠です。また、市民が農業や「農」に触れる機会が少ない都市での暮らしに「農」を取り入れることは、市民生活をより豊かなものにします。

本市は、都市において農業と市民がお互いにより良い関係を築くことができる社会を目指して、農業振興を行っていきます。

「農」と農業はどう違うの？

平成18年に策定した「なごやアグリライフプラン」では、農業が産業を表す言葉としてだけ使われがちであった中、「農業」が本来持つ、多くの人の営みや暮らしなどの基盤であるという意味を明確にするために、「農」という言葉を用いました。

今回の改定にあたって、これまでの「農」が表す広がりを中心に、産業としての農業と市民生活とのより良い「つながり」をはぐくんでいくために、「農」に「市民にとっての」という位置付けを与えます。



施策の体系

第1の柱 活力ある農業

人の 施策

- ① 農業者のニーズに合った、きめ細かな営農支援を行います。
- ② 新規就農を希望する人の、農地の権利取得や技術習得を支援します。
- ③ 人・農地プランの策定・改定に向けた地域の話し合いを支援します。

農地 の施策

- ④ 農用区域や生産緑地地区等において貴重な都市農地の保全に努めます。
- ⑤ 農業用水路、排水機場、農道等の生産基盤の確保に努めます。
- ⑥ 十分に活用されていない農地の利用を促進します。

第2の柱 「農」のある暮らし

耕す市民 の施策

- ⑦ 様々な関心を持つ市民が気軽に「農」を楽しめる環境をととのえます。
- ⑧ 貸し農園や農業体験農園の開設と利用を促進します。
- ⑨ 趣味や生きがいとしての「農」からさらに一歩進んで農業にチャレンジをする人を応援します。

食と農 の施策

- ⑩ 食農教育を通して、農業の大切さを伝えます。
- ⑪ 農産物の安全性を確保し、市民の健やかな食生活に貢献します。

第3の柱 農業と市民をつなぐ

つながり の施策

- ⑫ 朝市・青空市の活動支援や情報発信により、地産地消を促進します。
- ⑬ 農業ボランティアを育成しその活動を支援します。

都市環境 の施策

- ⑭ 農地の防災機能を十分に発揮させ、市民生活の安心・安全を守ります。
- ⑮ 都市農地を活用し、良好な都市環境の形成を推進します。